

2008年11月18日

株式会社 **山善**

(証券コード:8051)

オペレーティング・リースとABLでオリックスと業務提携

株式会社山善／機械部(以下、「弊社」)では、今般**オリックス株式会社(以下、「オリックス」)**とオペレーティング・リース取引(以下、「オペリース」)とABL(動産担保融資)事業において業務提携いたします。オリックスが行なうオペレーティング・リース取引とABLにおいて、弊社が工作機械の査定と買い取り保証を行うものです。弊社では、今回の業務提携を通じて、工作機械需要ユーザーに対する資金調達の実施の拡充を行うとともに、買取保証により、中古機械の調達力を高め、中古機械販売事業の強化にもつなげてまいります。

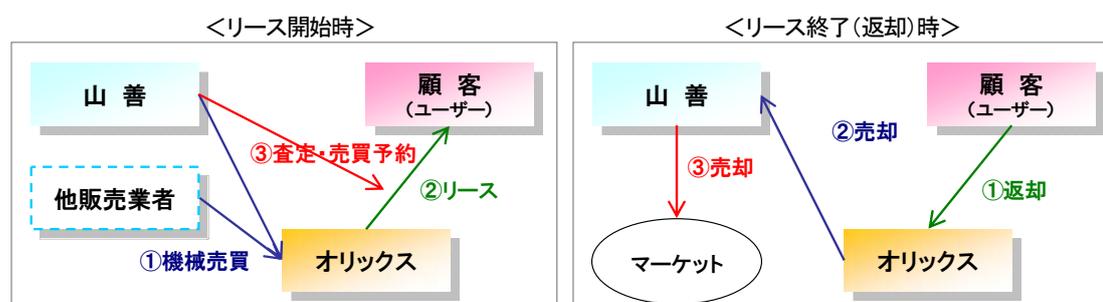
(1) 業務提携の目的

- これまで設備投資(特に工作機械)の資金調達にあたってはファイナンス・リースの利用が主流となってきましたが、企業会計制度の変更や最終消費財の短命化に伴う設備更新サイクルの短期化により、ファイナンス以外のリース取引(特にオペリース)や金融商品利用の増加が予測されています。これらのサービスを行なうには、対象リース物件の価値算定や終了後の転売など、工作機械に関する販売ノウハウが欠かせません。そこで、当分野で豊富な実績をもつ弊社と、オリックスの得意とする分野(全国の地域金融機関との良好なリレーション、豊富なリース実績)を併せることで、新たな工作機械需要顧客の開拓を行っていくことを目的に提携に至ったものです。

(2) 事業スキーム

I. オペレーティング・リース

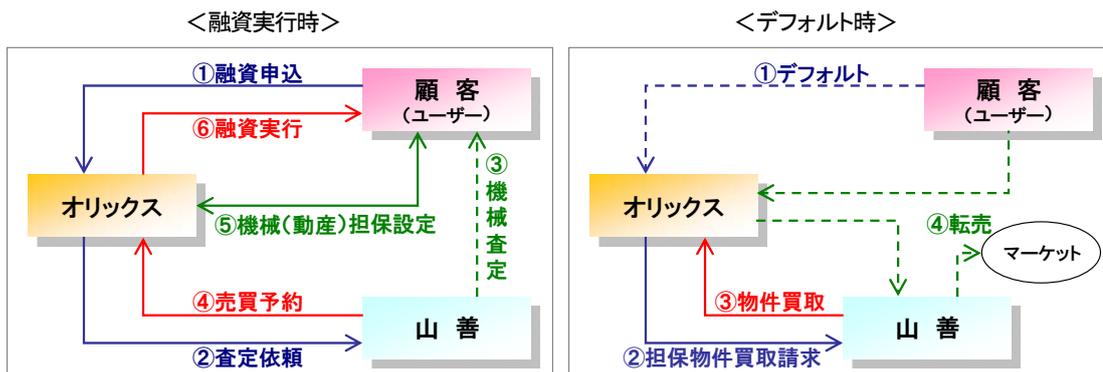
- 個別単位・新規契約時に、オペリースされる工作機械について弊社が経年単位に残存価値を予め査定し(※注1)、リース期間満了時にオリックスにその金額での買い取り予約を行うものです。
- リース期間終了後は、基本的にユーザーより返却され、当社が上記の査定金額で買い取りし、転売することになります。



※ 注1:現場査定の実務は弊社関係会社のワイパック株式会社が担当する予定です。

II. ABL(動産担保融資)(※注2)

- オリックスがユーザーに対して、ユーザーの保有する機械設備を担保として融資(または保証契約)を行う際に、弊社が経年単位で当該物件の価値評価(査定)を行うものです。
- 通常、融資契約満了時にはオリックスが担保解除し、物件はユーザーが継続使用しますが、デフォルト(債務不履行)時には弊社が予め定めた価格にて物件の買い取りを行い、転売することになります。

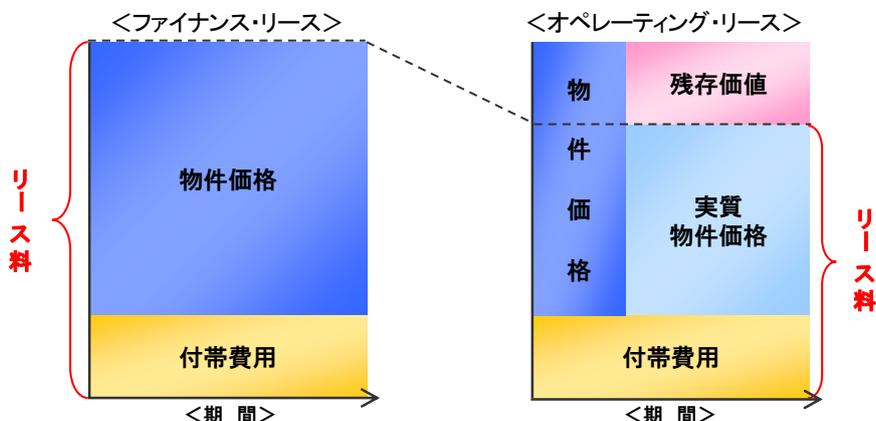


※ 注2: ABL(Asset Based Lending)=動産・債権等の事業収益資産を担保とし、担保資産の内容を常時モニタリングし、資産の一定割合を上限に資金調達を行う手法。欧米では主にミドルリスク・ミドルリターンの商品としての取り扱いが一般的。

(3) 業務提携の背景

I. 企業会計基準の変更

- 本年4月から企業会計基準の変更で、「リース会計制度」が導入され、従来「費用」としてオフバランスとされてきた「ファイナンス・リース取引」が、使用実態を踏まえてオンバランス(実質固定資産)化されることになりました。そのため、これまで設備更新頻度の高い先端企業を中心に行われてきた「オペリース」が、それ以外の業種でも自己資本率の低下・資産効率の低下を嫌うユーザーを中心に新規契約需要の増加が予測されています。



II. ABLの普及

- 一方、金融システムの安定化を目的に、これまでの「不動産担保」を中心とした銀行融資制度の見直しが進められており、「地域密着型金融推進計画(金融庁)」などで「動産担保」の中小企業への展開が図られています。既に「譲渡担保制度」など、インフラ面の法整備も具体化しています。こういった流れを受けて、昨今、大手銀行を中心に「ABL」といった金融商品(スキーム)への取り組みが本格化しつつあり、この商品の普及が進めば中小企業の金融調達手段はかなり多様化される見込みです。
- 以上のような需要変化に対応していくために、「動産(今回のケースでは工作機械)の残存価値の査定」がポイントになってくるものと考えられます。しかし、市場流通が確立し、ある程度客観的な査定価額が設定されている自動車などとは違い、使用形態・作業対象が千差万別の工作機械では、使用期間中の管理も含めて高度な査定技術が必要です。この点、弊社は、工作機械事業での実績やノウハウに基づく高い査定能力を有します。そこでこれを活かし、工作機械販売を拡大するために、豊富なファイナンス実績をもつオリックスとの業務提携に至りました。この業務提携を通じて、顧客ニーズに対応した他社にない優れたソリューションの提供を目指します。

III. 中古工作機械市場の拡大

- 現状、工作機械(新品)内需は停滞しつつありますが、世界的な需要拡大(地域や業種)によって納期待ちの状態も存在します。内訳を見ると新旧問わない汎用機の需要も相当あり、実際、中古機市場規模も年々拡大の傾向にあります。当社販売網の活用により、市場参入する余地は十分にあると考え、中古機械の確保に向けた足がかりとします。

<オリックス株式会社 会社概要>

- ◆ 社名(商号) : オリックス株式会社
- ◆ 本社所在地 : 東京都港区芝4丁目1番23号 三田NNビル
- ◆ 代表者 : 取締役 兼 代表執行役会長・グループCEO 宮内 義彦
取締役 兼 代表執行役社長・グループCOO 梁瀬 行雄
- ◆ 設立日 : 昭和39(1964)年4月17日
- ◆ 株主資本 : 1, 267, 917百万円(2008年3月31日現在)
- ◆ 営業収益 : 1, 154, 054百万円(2008年3月期/米国会計基準・連結)
- ◆ 株式上場 : (国内)東京・大阪市場第一部(証券コード:8591)
(海外)ニューヨーク(証券コード:IX)
- ◆ 業種・業態 : 融資事業、リース事業、金融商品販売など
- ◆ 営業拠点 : 国内1, 181拠点、海外289拠点(25カ国)
- ◆ 従業員数 : 18, 702名(2008年3月31日現在/連結)

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 担当部門 広報室

E-mail:info07@yamazen.co.jp